

和光大学 FD 推進委員会 —2022 年度活動報告および 2023 年度活動計画—

2022 年度活動報告

1. 授業アンケート

◆実施日程

前期科目：2022 年 7 月 18 日（月）～8 月 13 日（土）

後期及び通年科目：12 月 19 日（月）～2023 年 1 月 20 日（金）

◆調査方法

和光ポータル「授業評価」を用いて実施

◆集計結果（大学全体）

	総履修者数	回答数	回答率
前期	25,768	8,657	33.60%
後期	32,513	8,391	25.81%
	対象科目数（総科目）	回答科目数	実施率
前期	525	517	98.47%
後期	791	723	91.40%

対象科目の 1,316 科目のうち、学生から 1 件も回答がなかった科目は 76 科目（5.8%）。

◆参考：2021 年度集計結果

	総履修者数	回答数	回答率
前期	28,829	11,510	39.93%
後期	30,748	10,264	33.38%
	対象科目数（総科目）	回答科目数	実施率
前期	554	548	98.92%
後期	778	713	91.65%

対象科目の 1,332 科目のうち、学生から 1 件も回答がなかった科目は 71 科目（5.3%）。

昨年度に引き続き、オンライン授業に伴いアンケート項目を一部修正して実施した。

各科目の結果は、2012 年 4 月から大学 HP で公開している（教員の希望による非公開科目は「非公開」、学生から回答がなかった科目は「学生からの回答がなかった科目」と明示）。

2. 授業見学

◆実施日程・見学者数等

前期：6月13日（月）1限～6月18日（土）5限

見学受入可の教員62名（170科目）

見学者数（のべ）：教員1名、職員29名

後期：10月24日（月）1限～10月29日（土）5限

見学受入可の教員61名（163科目）

見学者数（のべ）：教員0名、職員16名

◆参考：2021年度実施日程・見学者数等

前期：6月14日（月）1限～6月19日（土）5限

見学受入可の教員46名（128科目）

見学者数（のべ）：教員0名、職員28名

後期：10月25日（月）1限～10月30日（土）5限

見学受入可の教員36名（98科目）

見学者数（のべ）：教員4名、職員22名

※2019年度から見学受入可否申請様式を変更し、見学受入科目が大幅に増加した。

※教員を対象とした個別授業見学は希望が寄せられなかった。

授業見学後のレポート（資料A参照）では「重要な機会である」「オンラインは参加しやすい」などのコメントが複数あった。

FD推進委員会では、授業見学の意義とFDの自主性を重んじる原則を確認し、FDについて次の方策をとっている。授業見学後のレビュー共有などは、引き続き検討課題とする。

① 2016年度から教員が見学しやすいよう個別見学の制度を設けている。

② 2014年度から全学教授会開催日など教員が出席しやすい日程でFD研修会を開催している。

3. FD研修会

①新任教職員FD研修会（対面）

日程：4月4日（月）10：30～12：00

参加者：教員4名、職員8名

②前期FD研修会（Zoom）

テーマ：「学習成果の可視化について」

日程：10月7日（金）15：00～16：30

参加者：専任教員78名、職員19名

③大学院 FD 研修会 (Zoom)

テーマ：「修士論文指導に関する意見交換」

日程：2022 年 12 月 2 日 (金) 16:45~18:00

参加者：専任教員 16 名、職員 1 名

④後期 FD 研修会 (Zoom)

テーマ：「大学設置基準の改正について—大学教職員として理解すべき全体像—」

日程：2023 年 2 月 8 日 (水) 11:00~12:30

参加者：専任教員 46 名、職員 36 名

4. 学会等へ教職員の派遣

①初年次教育学会 第 15 回大会 (ハイブリッド)

テーマ：「アフターコロナに向けた高大接続教育」

日程：2022 年 9 月 5 日 (月)、6 日 (火)

参加者：なし

②第 28 回京都 FD フォーラム (ハイブリッド) (参加報告は資料 B 参照)

テーマ：「挑選～多様な学びの支援に求められる挑戦と選択」

日程：2023 年 2 月 18 日 (土)・23 日 (木)・24 日 (金)・25 日 (土)

参加者：教員 1 名

2023 年度活動計画

1. 授業アンケート

前期は 7 月頃、後期は 12 月頃に実施予定。設問項目については、授業形態や状況により追加・修正が必要である。また、2021 年度から大学院科目も対象としている。

アンケート結果は引き続き HP で公開し、課題となっているアンケート結果の活用等についても検討する。

2. 授業見学

2016 年度より「通常見学」に加え、教員を対象に期間外の見学や見学受入れ科目以外の見学を可能にする「個別見学」を実施している。教員による見学を増やし、授業見学を充実させるためである。専任教員には是非「個別見学」も利用していただきたい。

3. FD 研修会

引き続き年度内に 3~4 回開催したい。

①新任教職員 FD 研修会（4 月初旬開催）、②前期 FD 研修会、③職員研修会：テーマに応じて共催等、④後期 FD 研修会。内容や講師については、今後検討する。各学部・学科、研究科や各部署が開催する研修会等で FD 推進にふさわしいものがあれば FD 推進委員会との共催とし全学教職員に参加を呼びかけたい。各部門からの提案をお願いしたい。

4. 学会等へ教職員の派遣

今年度も参加希望を募り、FD 推進委員会で調整したい。

①初年次教育学会第 16 回大会

テーマ：「初年次からはじめるウェルビーイングー学生・大学・地域の豊かな未来のために初年次教育はなにができるか？」

日程：2023 年 9 月 7 日（木）・8 日（金）

会場：山梨学院大学

②第 29 回 FD フォーラム（大学コンソーシアム京都主催）

日程：2024 年 2 月末～3 月初旬頃

テーマおよび会場：未定

上記以外にも FD 関連の学会等の案内があれば教職員に案内・周知する。